



避難時の心得

日頃から避難経路や避難場所を確認しておきましょう。



正しい情報の収集と自主的な避難を

ラジオ・テレビで最新の災害情報に注意をしましょう。山間部や沿岸部の近くに住んでいる人は早めに避難しましょう。



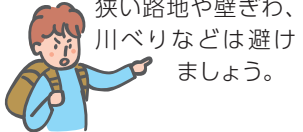
危険な場所には近づかない

増水した川の様子を見に行くのは大変危険です。絶対にやめましょう。



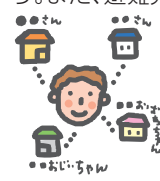
事前に避難経路の確認を

避難場所までの経路は、事前に確認しておきましょう。避難場所へ向かう道は、狭い路地や壁ぎわ、川べりなどは避けましょう。



避難する前には

避難する前に、電気・ガスなどの火元を確認しましょう。また、避難先や安否情報を書いた連絡メモを残しておきましょう。



避難の呼びかけがあれば速やかに避難を

人的被害が迫った場合には、市役所や消防団から避難の呼びかけをする場合があります。呼びかけがあった場合には、すぐに避難してください。



車での避難は控えて

避難場所へは徒歩で避難してください。車での避難は緊急車両の通行を妨げる原因となりますので、やめましょう。

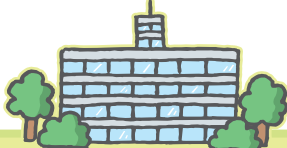


子供やお年寄りなどの避難に協力を

子供やお年寄り、体の不自由な人などは、避難に時間がかかります。近所のお年寄りなどの避難に協力をしましょう。また、日本語が不自由な外国人の避難にも協力をしましょう。

避難に遅れた場合には

もし避難に遅れ、危険が迫ってきた場合は、近くの丈夫な建物の3階以上(2階でも可)に逃げましょう。



非常持ち出し品

☐ 食料品など
食料、飲料水(1日3日分)
ナイフ、缶切り

☐ 日用品
手袋(軍手)、ちり紙
ローソク、マッチ・ライター
ロープ、懐中電灯、携帯ラジオ
生理用品、石けん・歯磨きセット

☐ その他
笛、携帯用カイロ
保険証コピー

☐ 衣類など
衣類、タオル、毛布
寝袋、下着類、上着
雨具

☐ 安全対策
ヘルメット
防災ずきん
救急セット
常備薬
底の厚い靴

☐ 貴重品
現金(小銭)、預金通帳、印鑑
重要書類の番号を記したもの

☐ あると便利な物
ウェットティッシュ、マスク、
ビニール袋、携帯用浄水器
食品用ラップ

☐ 赤ちゃん用品
哺乳ビン・ミルク
紙おむつ・衛生用品
母子手帳など

災害情報の入手先

信頼できる情報を入手し、噂やデマに惑わされず、落ち着いて行動しましょう。



防災情報提供センター

防災情報提供センター
<http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/>

川の水位情報

国土交通省 川の防災情報 <http://www.river.go.jp>
情報携帯端末(iモードなど) <http://www.i.river.go.jp>

気象情報

気象庁ホームページ <http://www.jma.go.jp>
天気・気象情報サイト(日本気象協会) <http://tenki.jp>

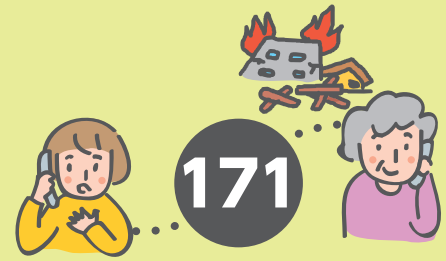
災害用伝言ダイヤル(171)について

大災害に際し、被災地との通話が困難になった場合、災害用伝言ダイヤルが使用できます。

171

をダイヤルした後、

ガイダンスに従ってください。



災害用伝言板サービス

災害発生時などに、携帯電話を利用して安否情報を登録でき、携帯電話やパソコンから確認することができます。

- NTTドコモ
(日本語版) <http://dengon.docomo.ne.jp/top.cgi>
(英語版) <http://dengon.docomo.ne.jp/Etop.cgi>

●KDDI:au
<http://dengon.ezweb.ne.jp/>

●ソフトバンクモバイル
<http://dengon.softbank.ne.jp/J>

●ウィルコム
<http://dengon.willcom-inc.com>

●イーモバイル
<http://dengon.emnet.ne.jp/>

